

リフォーム前

A 以前のお嬢さんの部屋。部屋が汚なくて、友達を呼べなかったのがいちばん悲しかったという



BEFORE

「やっぱり部屋がきれいになるって気持ちいいネ！ やっと家でくつろげるヨ」と植木夫妻



① 今まで眠っていた和室を紺と赤の鮮やかな色を配し、生氣あふれる空間に変身させた子供室。机は東急ハンズでアングルを切断してもらい、自分たちで組み立てたもの。壁のペンキ塗り、カーテンやベッドカバーなども手づくり品

マンション L+子供室

埼玉県浦和市 植木さんの家

リフォーム費用

14万円

階下への音が響かないように、畳をブルーのテントで包み、両面テープで張れば、ご覧の通りの洋間に！ カーペットの上にボール紙を敷き、生地を敷く方法も安上がりですヨ



③ 畳をテント地で包み込んだもの。畳がすりきれたときは、このアイデアを覚えておくと役に立つかも…

② 壁には昨年のカレンダーの絵を利用して貼っています



建築家の植木さんが公団の分譲マンションを買ったのは13年前。モノがあふれ、足の踏み場もない生活が続きました。昨年、息子さんが巣立ち、部屋が空いたのをきっかけに改造する話に。工務店に頼めば費用もかかるし、それに階下への騒音も気がかりだし、いずれはお嬢さんもお嫁にいくことを考えて、今回は小規模なリフォームにとどめ、自分ですることになりました。

「できることは自分たちの手で」これこそコストダウンのいちばんの早道です。植木家のリフォームは、彼が建築家であることを忘れそうなほど、素人にもできる簡単なことばかり。例えば、子供室の畳。2週間ほど干した後、テントで畳を包み、ガムテープとビョウで固定。これで汚かった畳はブルーのステキな床になりました。居間の床はパンチカーペットのループ状の毛先がつぶれきって板状になっていた上にボール紙を敷き、その上に布を置いてあります。クッション性と防音を兼ねた、安上がりな工夫です。

